



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 株式会社ブロードバンドタワー 上場取引所 東
コード番号 3776 URL <https://www.bbtower.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役 専務（氏名） 中川 美恵子
法務・経理統括
問合せ先責任者（役職名） 経理グループ ディレクター（氏名） 早田 幸司（TEL）03-5202-4800
半期報告書提出予定日 2026年8月6日 配当支払開始予定日 2026年9月1日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	6,299	△2.1	399	29.8	518	28.2	456	101.3
2025年12月期中間期	6,435	△2.6	307	△31.9	404	△31.6	226	△44.1

（注）包括利益 2026年12月期中間期 578百万円（211.6%） 2025年12月期中間期 185百万円（△71.1%）

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益	
	円	銭	円	銭
2026年12月期中間期	7	42	7	14
2025年12月期中間期	3	70	—	—

（注）1. 2025年12月期中間期に係る各数値については、2025年12月期第4四半期における会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。

2. 2025年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		
2026年12月期中間期	19,422		12,779		47.1
2025年12月期	19,182		12,069		45.7

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 9,144百万円 2025年12月期 8,767百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	1.00	—	2.00	3.00
2026年12月期	—	1.00			
2026年12月期(予想)			—	1.00	2.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	14,000	△8.4	805	△0.7	900	△1.0	480	59.9	7.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年12月期中間期	61,905,500株	2025年12月期	61,773,500株
2026年12月期中間期	315,572株	2025年12月期	315,522株
2026年12月期中間期	61,503,177株	2025年12月期中間期	61,388,973株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(以下、当中間期)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が下支えとなる一方、物価上昇や資源価格の変動、イラン情勢、米国の関税・通商政策をはじめとする海外経済の不確実性などから、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業においては、生成AIの活用が急速に進展するとともに、企業におけるDX投資は、AIを活用した業務改革やデータ利活用を中心に引き続き堅調に推移しております。また、クラウドサービスやデータセンター需要の拡大に加え、AI処理基盤の整備に向けたITインフラ投資も継続しており、市場は今後も中長期的に拡大していくことが期待されております。さらに、AIの普及に伴うデータ処理需要の拡大やネットワークの高度化を背景として、データセンター及びネットワーク関連サービスへの需要も高まる見通しです。一方で、昨今のAIプラットフォームへの爆発的な需要急増に伴い、通常のメモリやSSD等において価格高騰や納期の長期化が常態化しつつあるなど、サプライチェーンの動向には注視が必要な状況となっております。

このような環境の下、当社グループは、当社グループが展開するコンピュータプラットフォーム事業とメディアソリューション事業について、事業の変化に対応しながら事業運営をおこなっております。

当中間期におけるセグメント別の概況は以下のとおりであります。

(コンピュータプラットフォーム事業)

コンピュータプラットフォーム事業においては、①データセンター、②クラウド・ソリューション、③データ・ソリューション、④その他に分け、サービスを展開しております。

①データセンターでは、低遅延かつ優れた接続性を特長とする都市型データセンターの需要は堅調であり、基幹サイトである新大手町サイトを始めとして、当社が運営するデータセンターは、こうした需要を背景に、安定的な運営を継続しております。一方で、一部顧客における利用計画の見直しに伴い、予約ラックスペースの一部解約があり、その後の埋め戻しが途上にあることから、売り上げは減少しました。これに対し、大手町エリアを中心とした旺盛な需要を取り込むべく、引き続き新規受注活動に注力しております。今後の事業領域の拡大に関しては、2026年秋の開業を予定している石狩再エネデータセンターについて、当中間期まで事業化に係るコンサルティング業務に基づくサービスを提供しております。また、石狩再エネデータセンター内にて展開する当社の新サイト「石狩新港サイト」にて、早期に顧客を獲得いたしました。今後は、この石狩再エネデータセンターでの実績を基に、SPC(Special Purpose Company)を用いたストラクチャーやパートナー企業との協業モデルを積極的に活用し、これまでよりもアセットライトな事業モデルにさらにシフトすることによって、昨今、需要が急増しているAIデータセンター等、多様かつ大規模なデータセンター開発プロジェクトの立ち上げを目指してまいります。

この結果、データセンターの売上高は2,333百万円(前年同期比5.3%減)となりました。

②クラウド・ソリューションでは、自社クラウド「c9 Flexサービス」シリーズ、AWS・Azure等のパブリッククラウド、MSP監視運用サービス、SaaS型セキュリティソリューションを提供し、ITインフラ環境に最適化された高付加価値なクラウド構成・運用提案を行っております。当中間期では、クラウド市場の拡大を背景とした他社クラウドおよびMSP監視運用サービスが好調であり、売上高は1,004百万円(前年同期比1.3%増)となりました。

③データ・ソリューションでは、大容量化への対応、安定運用等、お客様のニーズに即したストレージの活用方法を提案しております。当社では、主力としてDell Technologies社製の「Dell PowerScale/Isilon」、ランサムウェア対策としてカナダSuperna社が開発した「Eyeglass」ソフトウェア製品群の日本国内での代理店販売ならびにサポートを行っております。これらのプロダクト販売に加え、保守サービス等を通じた継続的な収益も一部含む事業構造となっております。当中間期では、保守サービス等の継続的な収益が一部寄与したものの、当社が販売している製品に組み込まれているメモリ、SSDなどの納期の長期化により、売上高は1,070百万円(前年同期比5.5%減)となりました。

④その他、株式会社ティエスエスリンクが情報漏洩対策ソフトウェア製品の開発、販売等を行っております。売り上げは増加し、その他の売上高は79百万円(前年同期比9.3%増)となりました。

以上の結果、コンピュータプラットフォーム事業の売上高の合計は、クラウド・ソリューションの売り上げ増加があったものの、データセンターにおける解約の影響により4,487百万円(前年同期比4.0%減)となりまし

た。営業利益は、利益率の高い案件の増加により167百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

(メディアソリューション事業)

メディアソリューション事業では、ジャパンケーブルキャスト株式会社が、①コンテンツプラットフォーム、②インフォメーションプラットフォームに分け、サービスを展開しております。

①コンテンツプラットフォームは、ケーブルテレビ事業者向けの多チャンネル配信サービス「JC-HITS」などを提供しておりますが、ケーブルテレビ局の多チャンネル放送サービスのユーザー数の減少が影響し、売上高は1,313百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

②インフォメーションプラットフォームは、「JC-data」や「地域・防災DXサービス」を中心にサービスを提供しております。地方自治体による新しい地方経済・生活環境創生交付金利用の活発化を背景に、自治体向けデータ放送サービス及び地域・防災DXサービスの受注が増加し、売上高は470百万円(前年同期比36.8%増)となりました。

この結果、メディアソリューション事業の売上高の合計は、インフォメーションプラットフォームの売り上げ増加により1,784百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益はインフォメーションプラットフォームの売り上げ増加に加え、コンテンツプラットフォームにおける配信プラットフォーム関連の原価削減が寄与し284百万円(前年同期比21.4%増)となりました。なお、同事業を取り巻く環境下では、引き続き地方自治体による新しい地方経済・生活環境創生交付金利用が活発であり、現況においては、インフォメーションプラットフォーム関連サービスの販売促進活動を強化し、さらなる売り上げの拡大を目指してまいります。

以上の活動により、当中間期における当社グループの売上高は6,299百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は当社グループ全体の収益性の改善等により399百万円(前年同期比29.8%増)となりました。経常利益は、営業利益の増加に加え、持分法による投資利益の増加等により518百万円(前年同期比28.2%増)となり、親会社株主に帰属する中間純利益はみなかみ太陽光発電所の譲渡に伴う譲渡益を特別利益として計上したことから456百万円(前年同期比101.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当中間連結会計期間末における総資産は、売掛金、減価償却による有形固定資産及び無形固定資産の減少等はあったものの、現金及び預金、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ240百万円増加し19,422百万円となりました。

負債合計は、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ469百万円減少し6,643百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金の増加、非支配株主持分の増加等により、前連結会計年度末に比べ709百万円増加し12,779百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の45.7%から1.4ポイント増加し47.1%となりました。

なお、当社は、大手町に開設した新データセンターの投資に伴う資金需要に対し、機動的な資金調達を行うため、2018年3月に取引銀行等5社と総額40億円のコミット型シンジケートローン契約を締結しており、当中間連結会計期間末の本契約に基づく借入金残高は11億25百万円であります。

②キャッシュ・フローの分析

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して474百万円増加し、6,950百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益の計上、非現金支出費用である減価償却費の計上、売掛金の減少等により1,092百万円の収入(前年同期は691百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出、投資有価証券の取得による支出等により354百万円の支出(前年同期は388百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、非支配株主からの払込みによる収入があったものの、長期借入金の返済による支出、配当金の支払額等により262百万円の支出(前年同期は180百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本年7月22日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,975,461	7,450,415
売掛金	2,032,730	1,553,288
商品及び製品	72,644	106,063
その他	612,050	1,004,220
貸倒引当金	△2,775	△2,775
流動資産合計	9,690,110	10,111,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,752,241	2,566,637
機械及び装置(純額)	1,145,214	939,734
工具、器具及び備品(純額)	155,463	142,903
リース資産(純額)	118	—
建設仮勘定	2,533	9,872
有形固定資産合計	4,055,571	3,659,147
無形固定資産		
のれん	291,414	269,827
顧客関連資産	599,400	555,000
その他	196,780	230,111
無形固定資産合計	1,087,594	1,054,939
投資その他の資産		
投資有価証券	2,200,736	2,508,533
その他	2,148,014	2,088,300
投資その他の資産合計	4,348,751	4,596,833
固定資産合計	9,491,917	9,310,920
資産合計	19,182,027	19,422,133

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	933,821	909,279
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	713,040	713,040
未払法人税等	222,318	173,018
その他	2,188,503	2,295,374
流動負債合計	4,557,682	4,590,713
固定負債		
長期借入金	1,151,300	785,360
退職給付に係る負債	97,082	100,246
資産除去債務	882,223	865,399
その他	424,334	301,409
固定負債合計	2,554,940	2,052,415
負債合計	7,112,623	6,643,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,478,998	3,492,330
資本剰余金	4,067,092	4,080,424
利益剰余金	1,098,027	1,431,701
自己株式	△87,684	△87,696
株主資本合計	8,556,434	8,916,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	211,265	227,364
その他の包括利益累計額合計	211,265	227,364
新株予約権	13,000	13,000
非支配株主持分	3,288,704	3,621,880
純資産合計	12,069,404	12,779,005
負債純資産合計	19,182,027	19,422,133

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,435,720	6,299,486
売上原価	4,877,863	4,677,576
売上総利益	1,557,857	1,621,909
販売費及び一般管理費	1,250,082	1,222,358
営業利益	307,775	399,551
営業外収益		
受取利息	4,307	11,578
受取配当金	60,571	64,873
持分法による投資利益	—	56,124
投資事業組合運用益	46,040	6,497
その他	18,236	2,260
営業外収益合計	129,156	141,334
営業外費用		
支払利息	19,529	20,391
持分法による投資損失	10,843	—
その他	2,382	2,200
営業外費用合計	32,755	22,591
経常利益	404,176	518,295
特別利益		
固定資産売却益	—	50,098
資産除去債務戻入益	—	15,745
特別利益合計	—	65,843
税金等調整前中間純利益	404,176	584,138
法人税、住民税及び事業税	143,723	141,723
法人税等調整額	△29,455	△93,028
法人税等合計	114,267	48,695
中間純利益	289,908	535,442
非支配株主に帰属する中間純利益	63,044	78,853
親会社株主に帰属する中間純利益	226,864	456,589

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	289,908	535,442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103,376	45,414
持分法適用会社に対する持分相当額	△781	△2,086
その他の包括利益合計	△104,157	43,328
中間包括利益	185,750	578,771
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	175,645	472,688
非支配株主に係る中間包括利益	10,104	106,082

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	404,176	584,138
減価償却費	396,271	381,183
のれん償却額	21,586	21,586
その他の償却額	44,400	44,400
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7,766	3,164
受取利息及び受取配当金	△64,879	△76,452
支払利息	19,529	20,391
持分法による投資損益(△は益)	10,843	△56,124
投資事業組合運用損益(△は益)	△46,040	△6,497
固定資産売却損益(△は益)	—	△50,098
資産除去債務戻入益	—	△15,745
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,520	—
売上債権の増減額(△は増加)	49,644	479,262
棚卸資産の増減額(△は増加)	104,288	△33,404
仕入債務の増減額(△は減少)	△106,592	△24,541
未払消費税等の増減額(△は減少)	△94,806	50,657
その他	41,969	△99,124
小計	769,104	1,222,794
利息及び配当金の受取額	82,322	76,491
利息の支払額	△19,687	△20,711
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△139,987	△185,908
営業活動によるキャッシュ・フロー	691,752	1,092,665
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△128,154	△126,014
無形固定資産の取得による支出	△29,708	△24,183
定期預金の預入による支出	△300,000	△300,000
定期預金の払戻による収入	10,000	300,000
投資有価証券の取得による支出	△44,603	△216,791
投資有価証券の売却による収入	77,832	—
投資事業組合からの分配による収入	—	23,954
資産除去債務の履行による支出	—	△11,772
その他	25,774	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△388,859	△354,813
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△474,122	△365,940
配当金の支払額	△61,734	△122,811
非支配株主からの払込みによる収入	130,000	260,000
非支配株主への配当金の支払額	△12,886	△12,886
非支配株主への分配金の支払額	△60,189	△20,020
その他	△1,869	△1,240
財務活動によるキャッシュ・フロー	△180,801	△262,898
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	122,091	474,954
現金及び現金同等物の期首残高	7,585,914	6,475,461
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,708,005	6,950,415

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であるGiTV Fund II Investment, L.P.は、米国会計基準から日本基準に変更し、当該変更は遡及適用しております。

そのため、当中間連結会計期間に係る中間連結財務諸表に含まれる比較情報に適用した会計方針と、前中間連結会計期間に係る中間連結財務諸表に適用した会計方針との間に相違がみられます。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータプラットフォーム事業	メディアソリューション事業	計		
売上高					
データセンター	2,463,233	—	2,463,233	—	2,463,233
クラウド・ソリューション	992,098	—	992,098	—	992,098
データ・ソリューション	1,132,969	—	1,132,969	—	1,132,969
コンテンツプラットフォーム	—	1,385,710	1,385,710	—	1,385,710
インフォメーションプラットフォーム	—	344,008	344,008	—	344,008
その他	72,656	291	72,947	30,593	103,541
顧客との契約から生じる収益	4,660,957	1,730,009	6,390,967	30,593	6,421,560
その他の収益	14,160	—	14,160	—	14,160
外部顧客に対する売上高	4,675,117	1,730,009	6,405,127	30,593	6,435,720
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,370	250	22,620	△22,620	—
計	4,697,488	1,730,259	6,427,747	7,972	6,435,720
セグメント利益	158,114	234,545	392,659	△84,884	307,775

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額2,550千円及び報告セグメントに帰属しない付随的な収益や一般管理費等△87,434千円であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益には、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益が含まれております。

当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータブ ラットフォーム 事業	メディアソリュ ーション事業	計		
売上高					
データセンター	2,333,014	—	2,333,014	—	2,333,014
クラウド・ソリューション	1,004,735	—	1,004,735	—	1,004,735
データ・ソリューション	1,070,740	—	1,070,740	—	1,070,740
コンテンツ プラットフォーム	—	1,313,738	1,313,738	—	1,313,738
インフォメーション プラットフォーム	—	470,564	470,564	—	470,564
その他	79,429	—	79,429	27,263	106,692
顧客との契約から生じる収益	4,487,920	1,784,303	6,272,223	27,263	6,299,486
外部顧客に対する売上高	4,487,920	1,784,303	6,272,223	27,263	6,299,486
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,348	—	14,348	△14,348	—
計	4,502,268	1,784,303	6,286,571	12,915	6,299,486
セグメント利益	167,646	284,683	452,330	△52,778	399,551

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額2,550千円及び報告セグメントに帰属しない付随的な収益や一般管理費等△55,328千円であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。